

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立大和中学校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和3年5月27日(木)

■ 調査の対象学年

中学校3年生

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語・数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

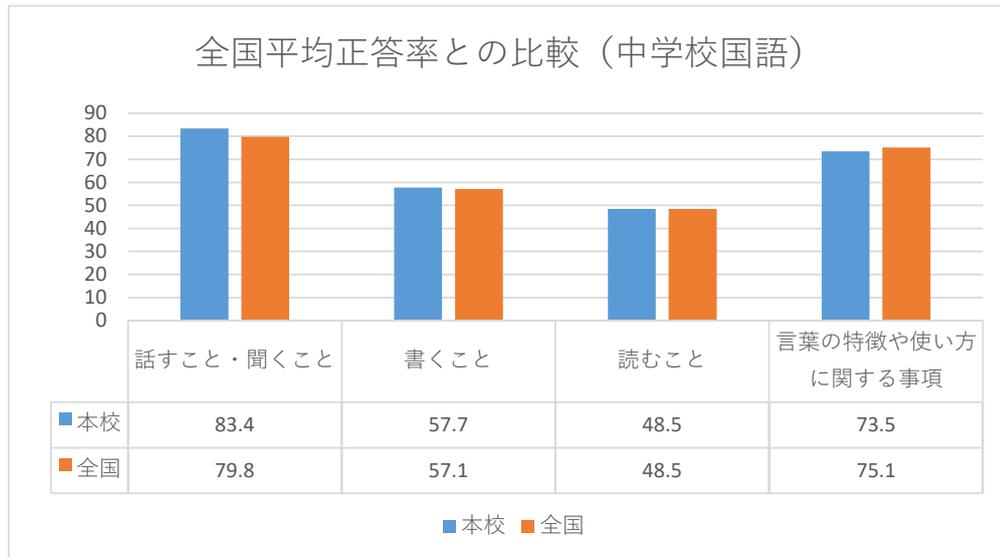
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

4領域のうち2領域で全国平均正答率を上回り、「話すこと・聞くこと」は全国平均を3.6ポイント上回っています。「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均を1.6ポイント下回っています。また、問題形式の「記述式」問題で、全国平均正答率よりも0.7ポイント低くなっています。

(2) 成果と課題

「話すこと・聞くこと」の設問1二(正答率 98.8%)で、話し合いの中での質問の意図を捉えることはできています。

「書くこと」の設問2一(正答率 29.8%、全国 24.8%)で、推敲する場面において、語句や文の使い方、段落相互の関係について考えることに課題があります。読みやすくわかりやすい文章にするために、読み手の立場に立って文書を整えていくように指導していきます。

「読むこと」の設問3四(正答率 21.1%、全国 20.5%)で、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことに課題があります。他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりすることで、自分の考えを確かなものにするように対話的な場面を設定します。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の設問4四(正答率 65.5%・全国 71.9%)で、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことに課題があります。

問題形式の「記述式」を苦手としている生徒が多くいることが課題です。

(3) 学力向上のための取り組み

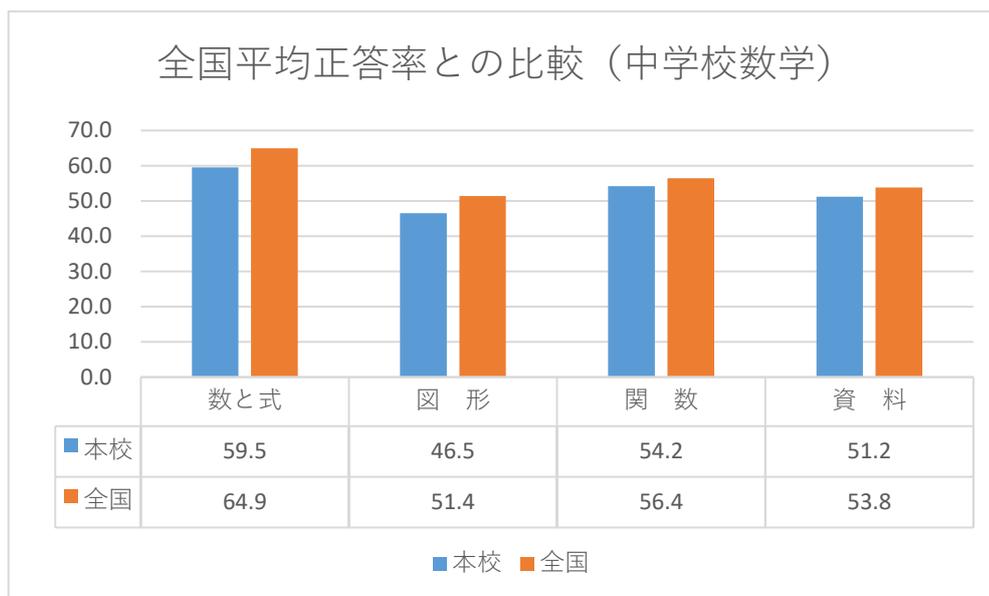
【学校では】

- 授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学びの推進）により、生徒が主体的に考え、話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながらかく機会を増やします。
- インタビュー、案内や紹介など、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで、表現力を向上させていきます。

【ご家庭では】

- 読書を大切にして、読書習慣をつけましょう。本のジャンルを広げ、いろんな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。市立図書館や書店に定期的に行くことも、お子さんの読書習慣を身につける上でおすすめです。
- 漢字などはこまめに復習して覚えましょう。意味の分からない語句は辞書で調べる習慣をつけましょう。

2 数学



(1) 結果

全ての領域で全国平均正答率を下回りました。特に「数と式」と「図形」の領域では、それぞれ全国平均正答率を5.4、4.9ポイント下回っています。

また、問題形式の「記述式」問題で平均正答率30.9%、全国平均よりも4.1ポイント低くなっています。

(2) 成果と課題

「数と式」の設問6(2)（正答率51.5%、全国61.8%）で、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題があります。文字式や言葉を用いて解決するための見通しをもち、根拠を明らかにして説明する活動を重視します。

「図形」の設問3（正答率60.8%、全国68.1%）で、扇形の中心角と弧の長さや面積との関係についての理解に課題があります。また、設問9(2)（正答率57.3%、全国64.3%）で、錯角が等しくなるための、2直線の位置関係の理解に課題があります。ある条件の下で図形を動かしたとき、常に成り立つ事柄を見だし、数学的に表現する活動を充実させます。

問題形式の「記述式」を苦手に行っている生徒が多くいることが課題です。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 様々な見方や考え方ができるように、グループで話し合う活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する活動を取り入れていきます。
- TT指導、ノートチェック、プリント、ドリル、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまづきを早期に見つけ、反復練習や補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- お子さんのノートやプリント等の宿題の様子をご覧になってください。文字の丁寧さや誤答から取り組みの様子が窺えます。努力していることや成果など、良い面に着目して、たくさん励ましや称賛の言葉をお願いします。
- 「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせることが有効です。数学を普段の生活の中で活用できないかと考えているお子さんも多く、生活場面で一緒に数学を意識して使ってみてはどうでしょうか。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	83.6%	81.8%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	41.5%	36.3%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	62.0%	57.6%
自分にはよいところがあると思いますか。	41.5%	34.5%
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	25.1%	20.0%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	83.0%	74.3%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	86.0%	81.4%

朝食・起床・就寝については全国平均を上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校が協力して、習慣化していきましょう。

挑戦する心や思いやりの項目については、肯定的な回答の生徒は全国平均よりも高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	15.2%	19.4%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	4.7%	12.3%
「2時間以上、3時間より少ない」	14.0%	29.5%
「1時間以上、2時間より少ない」	36.8%	34.1%
「30分以上、1時間より少ない」	25.1%	14.1%
「30分より少ない」	17.0%	6.4%
「全くしない」	2.3%	3.5%
新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。	29.2%	34.6%

家庭学習については全国平均を下回っています。家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や生徒に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じた生徒は全国平均を下回ったものの、新型コロナウイルス感染症拡大による生徒の心の問題も、大切な課題であるととらえています。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校教育目標「思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成」に向け、学校行事や学級・生徒会活動等で、個に応じた出番・役割を設定し、努力や成果を承認して自己肯定感を高めていきます。
- 自主学習について、毎日取り組んでいます。お手本になる自主学習ノートを掲示して、量と質の向上に努めていきます。また、テスト前には、家庭学習を計画的に進めることができるように具体的な学習内容や学習時間の予定を立てています。

【ご家庭では】

- 規則正しく、安全な生活に向けて、お子さんへの声かけをお願いします。ご家庭での情報端末機器（タブレットや携帯電話）などを使用する際には、使用時のルールを家族で話し合しましょう。
- 家庭学習の定着に向けて、お子さんへの声かけをお願いします。佐賀県教育委員会から配布された「家庭学習の手引き」をご参考に、自主学習ができるように励ましてください。